

平成 19 年度事業報告書

平成 19 年 1 月 1 日から平成 19 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 医薬品適正使用推進機構

1. 事業の成果

本年度は、一般市民 743 名、薬剤師や医療従事者 416 名、薬学部学生および教職員 300 名(計 1444 名)に対して医薬品の適正使用に関わる指導者育成講座および市民公開講座を 15 回実施した。こうした実績に基づき、広く国民の生命、健康の保持増進に大きく貢献した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数(人)	受益対象者 の範囲およ び人数(名)	支出額(千円)
第 1 回	国際シンポジウム「医薬品適正使用の推進」・第 8 回 NPO J-Do 講演会「くすりと安全に安心してつきあう」(世話人代表 鍋島俊隆、世話人 恒川庸蔵、新田淳美:セッション座長 野田幸裕、松原和夫、佐藤光源、岩田 久 :講演 「Polypharmacy and excessive dosing of antipsychotics in the treatment of schizophrenia」佐藤光源, 「Appropriate use of recently available atypical antipsychotic drugs in schizophrenic patients」笹 征史, 「医薬品適正使用における薬剤師の役割」鍋島俊隆	平成 19 年 3 月 17 日 (土) 9 時-17 時	名古屋大学医学部 附属病院(昭和区 鶴舞町 65)	30	224(学生、 教職員)	0(共催のため)
第 2 回	演題: Advancing Clinical Pharmacy Practice :Training and Development for the Future(先進的な医療薬学の実践:将来への教育と発展) KimberlyA. Galt (クレイトン大学薬学部教授)	平成 19 年 3 月 19 日 (月) 18 時 30 分 -20 時 30 分	ミッドランドスク エア(名古屋)	10	135(薬剤 師学生)	0(共催のため)
第 3 回	愛知県病院薬剤師学術講演会 演題: 「医薬品適正使用の推進～薬剤師外来の試み」鍋島俊隆(NPO 法人医薬品適正使用推進機構理事長)	平成 19 年 3 月 23 日 (金) 18 時 30 分 -20 時	グランコートホテ ル名古屋 7F グランコート	18	123(薬剤 師医療関 係者)	0(共催のため)
第 4 回	第 23 回東海薬物治療研究会・第 9 回 NPO J-Do 講演会「くすりと安全に安心してつきあう」演題: 「パーキンソン病の薬物療法」溝口功一他	平成 19 年 5 月 12 日 (土) 15 時-18 時	静岡県立大学 小講堂	6	85(一般)	0(共催のため)

第5回	第10回 NPO J-Do 講演会「くすりと安全に安心してつきあう」 演題：「医薬品適正使用における薬剤師の役割」鍋島俊隆(NPO 法人医薬品適正使用推進機構理事長) 石原俊樹、荒井啓二、岡田 啓 (スギ薬局)	平成19年 5月19日 (土) 14時-17時	ミーティングプラス 外苑前(南青山)	6	27(一般)	0(共催のため)
	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数(人)	受益対象者 の範囲およ び人数(名)	支出額(千円)
第6回	第11回 NPO J-Do 講演会「くすりと安全に安心してつきあう」演題：「向精神薬の適正使用多剤大量使用への対応」佐藤光源 (NPO 法人医薬品適正使用推進機構理事) 「医薬品適正使用における薬剤師の役割」鍋島俊隆(理事長)、石原俊樹、荒井啓二、岡田 啓 (スギ薬局)	平成19年 6月2日(土) 14時-17時	ホテルサンルート 仙台 (宮城)	6	41(一般)	0(共催のため)
第7回	第13回 NPO J-Do 講演会「くすりと安全に安心してつきあう」 演題：「薬・患者・薬剤師を結ぶコミュニケーション」佐藤信範(NPO 法人医薬品適正使用推進機構理事)、演題：「医薬品適正使用における薬剤師の役割」鍋島俊隆 「薬・患者・薬剤師を結ぶコミュニケーション」佐藤信範、石原俊樹、荒井啓二、岡田 啓 (スギ薬局)	平成19年 8月4日(土) 14時-17時	大宮ソニックシテ ィ (さいたま市)	6	27(一般)	0
第8回	平成19年度名城大学Day「知の発信」(実験講座)：「身近な危険！酒、タバコ、薬物乱用」(名城大学薬学部薬品作用学研究室 准教授、NPO 法人医薬品適正使用推進機構会員平松正行)	平成19年 9月16日(土) 14時-17時	名城大学薬学部 八事キャンパス内 会場 (名古屋)	12	76(一般)	0(共催のため)
第9回	日本薬学会東海支部特別講演会・第12回 NPO J-Do 講演会 「Neuroprotection by drugs acting at the signal receptor in neurodegenerative diseases」演者：Tangui Maurice 博士(CNRS 研究部門 モンペリエ II 大学/フランス)	平成19年 10月2日 (火) 17時-19時	名城大学薬学部 新1号館3階 305号教室	5	27(学生お よび教職 員)	0(共催のため)
第10回	第40回日本薬剤師学術大会ランチョンセミナー3 テーマ：「効ヒスタミン薬処方時の患者指導～とっておきの話」 鍋島俊隆	平成19年 10月7日 (日) 12時15分 -13時15分	ポートピアホテル 南館1階大輪田C (神戸)	10	369(アン ケート協 力者)	0(共催のため)
第11回	名古屋市立平和が丘小学校平成19年度第二回PTA家庭教育セミナー・第14回 NPO J-Do 講演会「くすりの正しい飲みかた」鍋島俊隆、野田幸裕	平成19年 10月12日 (金) 10時-12時	平和が丘小学校 特活室 (名古屋)	13	33(父兄 33)	0(公的 事業のため)

第12回	(社)徳山薬剤師会高齢福祉対策委員会平成19年度 高齢者のくすり教室・第15回 NPO J-Do 講演会「高齢者の薬の管理アンケート結果」御手洗昭子(NPO 法人医薬品適正使用推進機構理事) 講演「高齢者のくすりのアンケート結果」御手洗昭子	平成19年 10月30日 (水) 10時-11時 30分	太華荘 会議室 (山口県周南市)	5	57(一般市民)	0(公的 事業のため)
第13回	名城大学アジア研究所ミニシンポジウム・第16回 NPO J-Do 講演会:「統合失調症モデル動物とその治療薬の評価」野田 幸裕、「老化促進マウスにおけるオニヒトデ由来Acanthasterosidesの記憶障害緩解作用」間宮 隆吉、「経口ワクチンを用いたアルツハイマー病治療薬の開発」毛利彰宏	平成19年 10月31日 (水) 16時-18時	名城大学薬学部 6号館4階情報 メディア教室	10	49(学生、 教職員)	0(共催のため)
	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数(人)	受益対象者 の範囲およ び人数(名)	支出額(千円)
第14回	第24回東海薬物治療研究会・第17回 NPO J-Do 講演会「くすりと安全に安心してつきあう」代表世話人鍋島俊隆、演題:「NSTにおける薬剤師の基礎知識と役割」前島和俊他	平成19年 11月10日 (土) 15時-18時 10分	名古屋国際会議場 1号館4階会議室	15	158(薬剤 師医療関 係者)	0(共催のため)
第15回	第18回 NPO J-Do 講演会「くすりと安全に安心してつきあう」演題:「医薬品適正使用における薬剤師の役割」鍋島俊隆、「メタボリック症候群と動脈硬化の予防と薬の話」笹 征史、石原俊樹、荒井啓二、岡田 啓(スギ薬局)	平成19年 11月17日 (土) 14時-17時	大阪梅田センタービル (梅田)	6	28(一般市 民)	0(共催のため)

出版活動として、薬剤師向け機関紙への寄稿、および論文発表を下記のとおり9件行った

1	虚血性脳血管障害後の再発抑制ープラビックス [®] 錠25mg, 75mg (熊倉康郎 名古屋大学医学部附属病院薬剤部 執筆) : 監修 鍋島俊隆 やくほう紙(スズケングループ発行)第21号2007年4月発行
2	HMG-CoA還元酵素阻害剤ー Crestor [®] 錠2.5mg, 5mg (田中恵理子 名古屋大学医学部附属病院薬剤部 執筆) : 監修 鍋島俊隆 やくほう紙(スズケングループ発行)第22号2007年6月発行
3	持続性アンジオテンシン II受容体拮抗薬 (ARB) /利尿薬合剤プレミメント [™] 錠 (田中恵理子 名古屋大学医学部附属病院薬剤部 執筆) : 監修 鍋島俊隆 やくほう紙(スズケングループ発行)第23号2007年7月発行
4	選択的セロトニン再取り込み阻害剤 (SSRI) ージェイソロフト [®] 錠25mg, 50mg (辻 美江 名古屋大学医学部附属病院薬剤部 執筆) : 監修 鍋島俊隆 やくほう紙(スズケングループ発行)第24号2007年8月発行
5	抗精神病薬ーリスパダール [®] 内用液1mg/mL (辻 美江 名古屋大学医学部附属病院薬剤部 執筆) : 監修 鍋島俊隆 やくほう紙(スズケングループ発行)第25号2007年10月発行

6	アレルギー性疾患治療剤 ―選択的ヒスタミンH ₁ 受容体拮抗薬タリオン [®] OD錠(木下 裕子 名古屋大学医学部附属病院薬剤部 執筆) : 監修 鍋島俊隆 やくほう紙 (スズケングループ発行) 第26号 2007年11月発行
7	Yoshida, M., Morita, R., Lefor, A. T. and Nabeshima, T.: Implementation and evaluation of a once daily amikacin dosing protocol in a long-term care facility. Int. J. Antimicrob. Agents, 29, 113-116 (2007) 鍋島俊隆 共著
8	Wang, D., Noda, Y., Zhou, Y., Nitta, A., Furukawa, H. and Nabeshima, T.: Synergistic effect of galantamine with risperidone on impairment of social interaction in phencyclidine-treated mice as a schizophrenic animal model. Neuropharmacology, 52, 1179-1187 (2007) 鍋島俊隆、野田幸宏(会員)、新田淳美(会員) 共著
9	Wang, D., Noda, Y., Zhou, Y., Nitta, A., Furukawa H. and Nabeshima, T.: Synergistic effect of combined treatment with risperidone and galantamine on phencyclidine-induced impairment of latent visuospatial learning and memory: role of nAChR activation-dependent increase of dopamine D1 receptor-mediated neurotransmission. Neuropharmacology, 53, 379-389 (2007) 鍋島俊隆、野田幸宏(会員)、新田淳美(会員) 共著

(2) その他に係る事業

収益事業は、実施しなかった。